

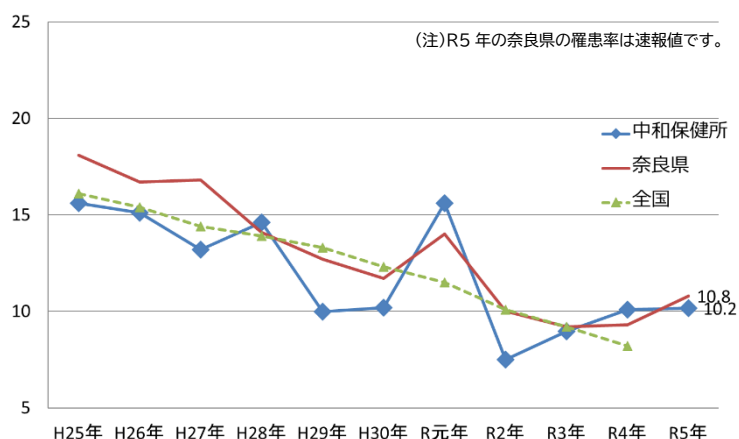
結核は過去の病気ではありません

9月24日～30日は「結核予防週間」です

結核とは？

結核は、昭和25年頃までは日本の死因の1位になるほどの国民病でした。現在は医療と生活水準の向上により「薬を飲めば治る病気」となりました。しかし、今でも年間 10,000 人以上の人が結核を発症しており、約1,600 人が命を落としている日本の主要な感染症です。

中和保健所・奈良県・全国の罹患率(人口 10 万人対) 年次推移



中和保健所管内の結核発生状況は？

中和保健所管内では、令和5年に56人の結核患者が見つかりました。

そのうち、65歳以上の年齢層が38人(約68%)を占めています。

早期発見・早期治療が大切です

●次のような症状がある場合は早めに医療機関を受診しましょう。

- ・咳や痰が2週間以上続いている。
- ・微熱や体のだるさが2週間以上続いている。
- ・体重が急に減ってきた。
- ・食欲がない。
- ・近頃、寝汗をかいている。



●職場や市町村の健康診断などで、年に1回は胸部 X 線検査を受けましょう。

高齢者は、目立った症状が出にくい場合があります。特に高齢者は、症状が出なくても、毎年胸部 X 線検査を受けましょう。(感染症法上では、65歳以上の方の定期健康診断が義務づけられています。)



検査の結果、精密検査が必要となった場合には必ず受けましょう！



奈良県中和保健所 保健予防課感染症係
橿原市常盤町605番地の5 ☎0744-48-3037